



創
っ
て
み
よ
う
！



小枝クラフト



【説明】

当施設内の松や桜などの間伐材（自然木）等を素材とし、小枝で作品を作る活動です。

【ねらい】

小枝クラフトを通じて、自然素材の性質を理解するとともに、創意工夫してクラフトに取り組む創造力や集中力を育む。



工作館



1.5～2.5時間

（材料集めからの活動に
すると、2.5～3.5時間）



80人程度



小学校1年生～



通年



指導あり
（要電話予約）

貸出できるもの

・はさみ、のこぎり、小刀など

※ ヒートン、目玉、木工ボンド、竹ひご、ひも、ホットボンド等は、当施設で準備します。

団体に準備するもの

- ・軍手
- ・マジック、その他装飾に必要なもの
- ・材料費100円/1人



作品例



【活動時間によって内容が制限されます】

① 小枝を切る

② 小枝を削る

③ 装飾する



製作目安時間：1.5～2時間程度

2～2.5時間程度

活動上の留意点

※ 複数の枝を組み合わせた作品の場合は、3時間程度かかります。

- ・ 利用団体の引率者は刃物の扱いや火傷等、道具の使い方に十分留意してください。



道具の使い方 説明

※ 道具を持たない手に、軍手をつけましょう！

のこぎりの使い方



- ① のこぎりは、引く時に力をいれ、押す時に力を抜きます。
初めはストロークを小さく、材料にのこ刃が食い込み出したらストロークを大きくします。
- ② 力任せではなく、刃が材料を削っていくのを体感しながら、のこぎりの重さで自然に切っていきます。

小刀の使い方



- ① 利き手で小刀の柄の部分を持ちます。親指を伸ばし、削る小刀の刃の峰（背の部分）に当てます。
もう一方の手で削る木材を押さええます。
- ② 親指で峰を押しながら木材を少しずつ削ります。
『小刀』の良さは、利き手で切りやすいように刃先の角度を変えたり、木材の削る角度を調整したりできることです。
また、刃に厚さがあるため刃先の力が強く、木材の曲線削りや、スライドさせて表面削りなどに使うことができます。

グルーガンの使い方

【使い方 1】

- ・ グルーガン本体の後ろの穴から、スティックを奥まで差し込みます。

【使い方 2】

- ・ グルーガンの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ・ 約5分でスティックが加熱され、使用可能な温度に達します。
- ・ 使うときは必ずノズルを下に向けた状態で持ちます。
(ノズルを上に向けると、溶けたスティックが本体を逆流し、故障する恐れがあります。)
- ・ 溶けたスティックが溶け出しても良いように、ノズルの下に受け皿等を敷いておきます。

【使い方 3】

- ・ トリガーを引いてスティックを押し出すことで、溶けた接着剤がノズルから出てきます。

【使い方 4】

- ・ ノズルから溶け出た接着剤を材料につけて接着します。
- ・ 接着剤は数秒で固くなり始めますので、すばやく接着します。

【片付け方】

- ・ コンセントからプラグを抜き、本体を冷まします。
- ・ 本体が十分に冷えてから、スティックは本体に差し込んだままで片付けます。

